

「被災ミュージアム再興事業」

1 事業の概要

被災ミュージアム再興事業は、東日本大震災により被災した博物館等の復興を目的に、復興庁を窓口文化庁が中心となり被災道県に対して国庫から特別の財政補助をする事業であり、今年度から5ヶ年度継続される予定である。宮城県では、県内の博物館等からの対象事業を宮城県教育庁文化財保護課が取り纏め、県全体で約5億円の補助額を申請し、その交付が内定している。

仙台市科学館は、宮城県被災文化財等保全連絡会議の一員として、被災文化財等のレスキュー活動に携わってきた。その活動の中で救出した自然史標本等を、適切に保管、修復、返却する事業を対象事業として応募した。

2 仙台市科学館が担当する事業

①事業名：「被災自然史標本等保全再興事業」

②事業目的：

当館では現在、「おしかホエールランド」（石巻市）、「唐桑漁村センター」（気仙沼市）、「歌津魚竜館」（南三陸町）、「マリンパル女川」（女川町）から救出された自然史標本等を保管している。被災標本等の保管施設としての適切な収蔵環境を向上させるとともに、被災標本等の整理や修復を行い学習や研究に活用できるものとして被災施設（自治体）に返却を図る。

③事業内容：

『一時保管施設としての収蔵環境向上対策』

被災標本等を所蔵標本等と共存保管するための、収納設増設等を図る。

『被災標本等に対する調査・処置・整理』

被災標本等を調査し、必要に応じて修復し、学術的価値の保全を図る。

『被災自然史標本等を活用した展示・パッケージ作成と返却』

処置、整理した標本等を展示パッケージ化して被災施設（自治体）に返却する。

④予定：

<平成24年度>

平成24年10月～ ・各種資材の発注

12月～ ・収納設備増設、被災標本と収蔵標本の整理

・唐桑漁村センター液浸標本の修復・パッケージ化

平成25年 2月～ ・被災標本の展示活用検討

・唐桑漁村センター液浸標本の返却

<平成25年度以降>

・新たな被災標本保管要請への対応

・各被災博物館等の被災標本等の修復・整理と返却

⑤予算： 7,200,000円（平成24年度）

展示リニューアル基本構想案策定に向けて

1 展示リニューアルの必要性について

(1) 現展示の老朽化・旧式化

ハンズオンの概念に基づき参加体験型の展示館として新科学館が開館して 22 年が経過し、前回の部分的な一部展示更新からも 12 年を経ている。館内には約 3000 点の展示物があるが、多くが開館当初のままで老朽化と経年劣化が目立ち、多くの展示装置は修繕を繰り返しながら運用している状況である。展示装置に組み込まれたコンピュータの動作環境にも限界が来ており、部品の供給終了等により修理不能のものも見られる。

また、老朽化した展示の補充として、外部機関からの展示の寄贈や職員、ボランティアによる展示の製作等を行ってきたが、展示室の統一感や本来の展示コンセプトが不明確になりつつある。

さらに、科学館として市民に科学の原理法則を伝えるとともに、最先端の科学技術についても市民に紹介していく必要があり、新しい科学理論に基づいた展示を展開していくことが望まれる。

(2) 科学館新基本理念及び基本方針との整合性

昨年度、仙台市科学館では「基本理念」及び「基本方針」の見直しを行った。現展示は平成 2 年に新築移転した際の基本構想に基づいて設計、製作されたものであり、今後は新理念や方針との整合性を図り、入館者にとって魅力ある展示にしていく必要がある。そのためには、新理念や方針を規準とした展示の評価を行い、展示リニューアルの方向性を明確にしていくことが望まれる。

(3) 社会状況や市民のニーズの変化への対応

情報端末やインターネットが普及し、必要な情報が簡便に入手できるようになった今日、市民や子どもたちが実物に触れ、実験などの体験をする機会は減少してきており、バーチャルな情報では得られない「体験」の価値が以前にも増して高まっている。科学館においても実物資料や実験装置の展示を充実するとともに、体験の質を高める工夫を行っていく必要がある。

(4) ユニバーサルデザイン化への対応

展示物の破損による怪我の防止だけでなく、子どもから年配者まで幅広い年齢層や障害のある方々が自由に参加体験型の展示を楽しめるよう設備のバリアフリー化の改修を進める必要がある。また、今後さらなる国際化が予想される中、多言語対応の環境を整備していかなければならない。

2 展示リニューアル基本構想策定までの流れについて

- ① 現行展示の評価と課題の洗い出し（展示全体及び各分野領域）・・・内部評価
- ② 科学館協議会からの意見聴取及びアンケート・・・関係者評価
- ③ 利用者（友の会、児童生徒、学校教員等）を対象としたアンケート・・・外部評価
- ④ 評価及び「基本理念」「基本方針」を反映した展示コンセプト（全体コンセプト）の策定
- ⑤ 各分野領域（展示室毎）の展示コンセプトの策定
- ⑥ 他館のリニューアル状況、展示業者等からの情報収集
- ⑦ 展示リニューアル基本構想の策定

3 展示リニューアルの今後の計画

平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度以降
展示リニューアル基本構想	展示リニューアル基本計画	展示設計、製作、設置

